

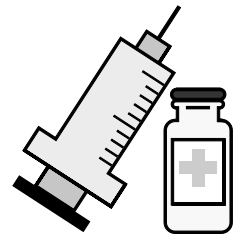
平成20年5月より

肺炎球菌ワクチン予防接種の公費助成を開始します！

肺炎は日本人の死因の第4位であり、死亡者数の大半を高齢者が占めている病気です。肺炎の原因は肺炎球菌がもっとも多く、しかも重症になりやすいといわれています。

肺炎球菌の病気の予防には、肺炎球菌ワクチンが有効です。

1. 対象者：接種日において、65歳以上の小平町に住所がある方
※過去に接種したことがある方は受けることができません
2. 接種期間：平成20年5月から開始し、通年実施します
3. 接種医療機関：小平町立小平診療所（月～金曜日 9時～11時）
小平町立鬼鹿診療所（月～金曜日 14時～14時半）
4. 接種費用：3,500円（生活保護受給者のみ無料）
（自己負担額）
5. 接種方法：肺炎球菌ワクチンを、1回0.5ml筋肉内または皮下に注射します
※予防接種法に基づき、生涯1回限りの接種とし、再接種はできません
6. 申込方法：保健福祉課健康づくり係まで、電話または来庁にてお申込みください



～ 肺炎球菌ワクチン予防接種Q&A ～

Q 1. 肺炎球菌ワクチン予防接種の効果は？

⇒ 肺炎球菌ワクチンを接種することにより、日本に分布する肺炎球菌の約80%に対応することができます。

1回の接種で5年以上免疫が持続します。（若い時期に接種した方が、予防効果は長く持続するといわれています。）

Q 2. 副作用は？

⇒ 主な副作用はインフルエンザ等の他の予防接種とほぼ同じです。

注射部位の腫れや痛み、ときに軽い発熱がみられることがありますが、日常生活に差し支えるほどのものではありません。通常1～2日で消失します。

Q 3. 何歳の時に受けたらいいの？

⇒ 町の助成では、65歳から受けることができます。一生免疫が持続するわけではないので、何歳で接種されるかは、自身の健康状態などを考慮し、ご家族の方や保健師等に相談の上、判断していただきたいと思います。

Q 4. なぜ肺炎球菌ワクチンは一生に1回しか接種できないの？

⇒ 再接種をすると、副反応の増強（注射部位の局所反応）が観察されているため、安全性を考慮し、日本では一生に1回しか接種することができません。

Q 5. 65歳以下は接種できないの？

⇒ 町の助成は受けられません。但し、2歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い人（脾臓摘出患者等）であれば全額自己負担で病院と相談の上、受けることができます。